

2011年3月10日

アメリカ合衆国政府
クリントン国務長官 殿

へり基地建設反対協議会
代表 安次富 浩 大西 照雄

沖縄県民を侮蔑したケビン・メア国務省日本担当部長の更迭を求める要請書

貴政府の国務省日本担当部長であるメア氏が在沖米軍基地に関する研修旅行前のアメリカン大学の学生たちに対して、オフレコを前提に沖縄の現状をレクチャーしましたが、沖縄を侮蔑する内容に充満していた講義であったことが日本の共同通信の報道で判明しました。

メア部長は沖縄総領事館の総領事として勤務し、「良き隣人」として振る舞っていたはずですが、しかしながら、沖縄通のメア氏は沖縄を全く知らない学生たちに人種差別に近い内容で満ち溢れた講義を行ったことに強い怒りを覚えます。外交官としての資質を疑うものであり、断じて許せるものではありません。

メア部長は総領事在任中に在沖米軍機などの飛行訓練の騒音被害に苦しんでいる沖縄県民に対して、心を痛めつける数々の暴言を吐きました。その結果、2009年4月6日、在沖米国総領事館の近くにあるスターバックス（コーヒーショップ）において、勇気ある県民から熱いコーヒーを浴びせられる「コーヒー・シャワー」事件に遭遇した経験を持っています。多くの県民は沖縄差別の確信犯であるメア氏への正当なる怒りの抗議であったと大きく共感しました。

アメリカン大学の学生たちがオフレコと釘を刺されながらも口述をまとめて、報道機関に公表した勇気ある行為は称賛に値します。彼ら学生は沖縄での研修旅行の結果、メア部長の悪意に基づく沖縄に関する講義とは実態がちがうことを感じとり、口述録を公表したものと思われます。彼ら学生こそ健全なアメリカ民主主義の実践者であり、沖縄の青年達のお手本になるものです。

「ごまかしとゆすりの名人」がアメリカ政府であることは貴国防総省報告「同盟国の貢献度」でも明らかです。一方で、貴国政府からの要請と言う名の圧力に負ける我が政府のだらしなさに憤りを覚えるのは言うまでもありません。

それゆえ、私たちは普天間基地の辺野古移設に反対する沖縄県名護市の市民団体を代表して、以下の通り貴職に強く抗議し、要請します。

記

- 1、 沖縄県民を侮辱したメア日本担当部長の更迭を求めます。
- 2、 普天間基地の即時閉鎖と辺野古新基地建設計画の白紙撤回を求めます。